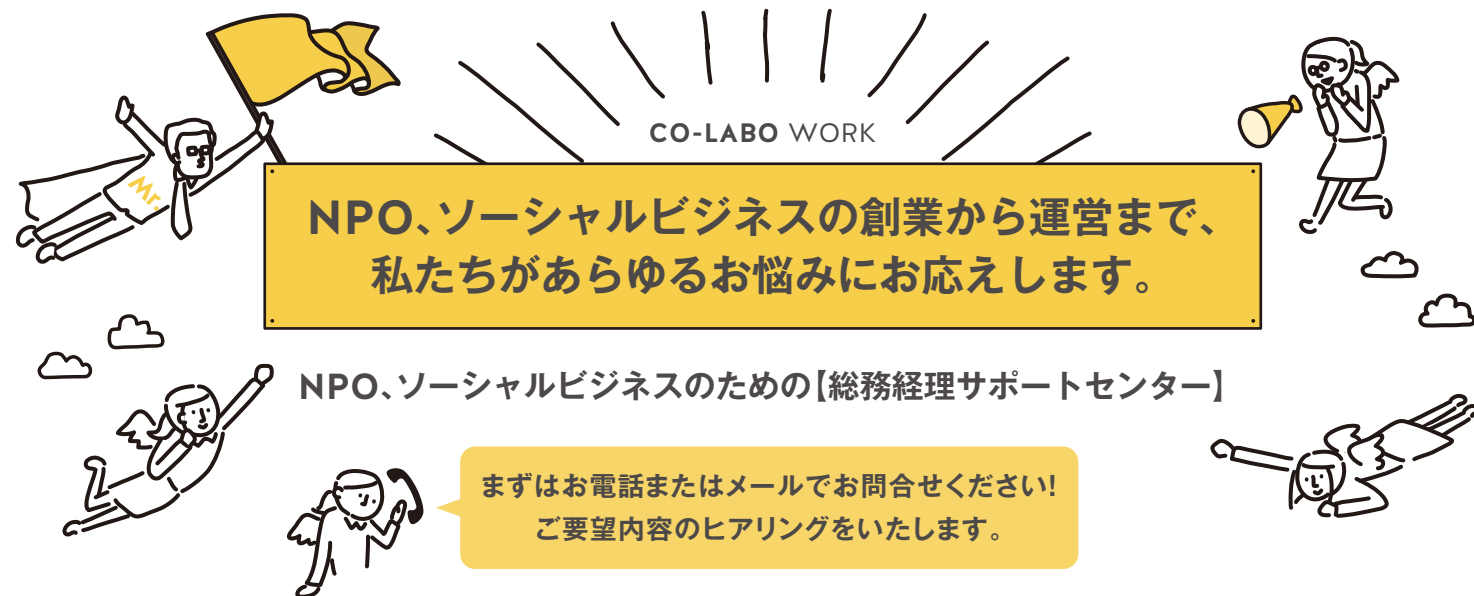




ご相談内容に応じて、下記のサービスをご提供します。

こらぼワークで解決できない内容は、解決できる相談窓口・支援機関・専門家ををご紹介します。

経営の
悩み

経営サポート

ビジネスプラン作成 福祉分野の制度活用
新規事業開発 融資利用のご相談
団体の設立・運営 補助金申請

▶ ご来訪いただいてご相談(初回無料)

ご相談の結果、具体的なサポートが必要な場合は
都度、手数料をお見積りの上で実施いたします

※中小企業団体中央会、よろず支援拠点等の公的支援機関を
通じての相談対応も可能です。(無料)

会計サポート

お金の
悩み

会計記帳代行 給与計算代行 その他

▶ 定期業務委託契約により実施(月額)

事業規模、仕訳伝票数、従業員数をもとにお見積

決算書の作成 法人税申告 消費税申告

▶ 提携している会計事務所と直接ご契約

決算、申告後に所定の料金をいただきます

人の
悩み

人事・労務サポート

労働・社会保険手続き代行 書類提出代行
労働保険事務組合への加入 労使トラブル
労働・社会保険法令に関する相談支援
各種人事制度の策定支援

▶ 顧問契約(月額)または単発契約(都度)

社労士事務所で職員数、事業内容等をもとに見積

その他サポート

その他
何でも

各種法令対応 トラブル対応
パソコン・ネットワーク整備
広報企画・販売促進に関する相談対応

▶ 個別にご相談ください

提携している法律事務所、情報通信関連事業者、
デザイン事務所等をご紹介します

悩んだら相談！



こらぼワーク

仲間と一緒に、仕事をつくる

総務経理サポートのご相談はこちら

☎028-645-5561

受付時間 月曜～金曜 9:00～17:30

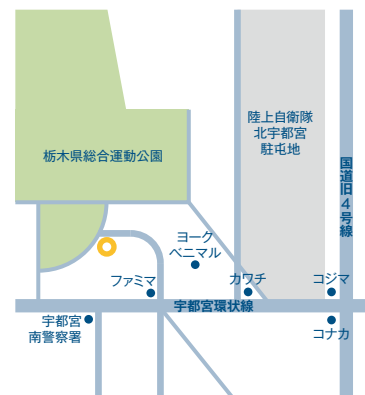
こらぼワーク本部
総務経理サポートセンター

〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田7-1-2

FAX 028-659-4959

MAIL info@kyoudou.net

http://www.kyoudou.net/



SUPPORT FOR SOCIAL BUSINESS

ソーシャルビジネスの総合サポート

誰かのために、
社会のために。

NPO・ソーシャルビジネスの総務経理サポート

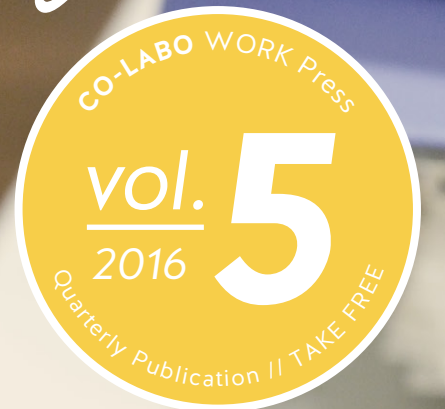
企業組合と5か労働福祉事業団

〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-659-4959

http://www.kyoudou.net/

こらぼワークプレス

CO-LABO
WORK
Press



こらぼワーク
仲間と一緒に、仕事をつくる



SUPPORT FOR SOCIAL BUSINESS

誰かのために、社会のために。
真摯な想いを、手助けしたい。

こらぼワーク ソーシャルビジネスの総合サポート

CO-LABO WORK



親しい人をなんとかしたくて、起業した人。
ただただ、社会のために何かしたくて動いている人。
その人たちの心の奥には共通の「想い」。
「この事業を通して社会をより良くしていきたい」。

そんな「想い」をカタチにするお手伝いをしてるのが、
こらぼワーク本部の「総務経理サポート」です。
イメージは、ソーシャルビジネスの総合サポートセンター。
多様なスペシャリストと連携しながら
みんなが楽しく幸せに暮らせる地域社会を目指して。
私たちは「想い」を持った人たちの応援団であり続けます。

こんなに大変！

NPO・ソーシャルビジネスの総務経理のしごと

やることがたくさん！

起業したいけど、何から始めればいいの？

そもそも、どこに相談しよう??

事務に追われ本来の業務が手つかず…

組織運営、マネジメント、経営、お金、法律、人、PR、IT・・・誰か助けて～!!

お呼びですか～？ ご安心ください!!!
わたしたち、こらぼワークがあらゆる
お悩みにお応えします！



Mr.タナカと
こらぼワークエンジェルス

1 NPOのお悩み

こらぼワークがNPOや社会福祉法人等の
あらゆるお悩み事の相談にのります。

① 経営のこと

起業・創業の相談、ビジネスプランの作成
非営利組織の設立、運営
福祉分野（高齢・児童・障害）制度
経営全般

② お金のこと

資金調達（融資・補助金）
会計記帳（NPO法人会計基準ほか）
会計報告書の作成
報酬・謝金など支払管理・支払調書作成

③ 人のこと

給与計算
労働・社会保険法令
福利厚生に関する手続
組織・人材マネジメント

④ その他

法令対応
パソコン
ネットワーク整備
トラブル対応
広報企画
プロモーション

2 各分野のスペシャリスト

こらぼワークが様々な専門家と力を合わせて
お悩みを解決します。

中小企業診断士

組織の立ち上げから運営まで
経営のこと全般をサポート

会計事務所

決算書の作成、各種税金の申告
所得税、住民税の管理など

社会保険労務士

給与計算代行、労働・社会保険法令のサポート
福利厚生、組織・人材マネジメント

弁護士・司法書士・行政書士

法令対応の相談、登記書類の作成、
官公庁へ提出する公的書類の作成

情報通信関連事業者

パソコン・ネットワーク整備、
トラブル対応のサポート

デザイナー

広報企画、宣伝・集客、
プロモーションに関するサポート

各専門業種の
スペシャリスト！

士業紹介

士業とは、「〇〇士」という名称の
専門資格職業の俗称であり（さむ
らいぎょう）ともよばれています。
ここで、こらぼワーク Mr. タナカが
有する士業や、その他様々な協力
専門家のご紹介。

経営
のプロ

中小企業診断士

経営者の心強い
ブレーン

「組織が売上を伸ばし、コス
トを削減し、利益を上げる」
ための適切な提案をするのが
仕事です。高度な専門知識と
実践的なコンサルティングス
キルを備えた中小企業診断士
は経営者のパートナーです。

労務
のプロ

社会保険労務士

人（従業員）の
環境を整える

総務、人事の仕事。従業員
が安心して働ける環境を作
り、賃金、退職金、労働時間、
休暇、福利厚生、社会保険
といった労働条件の整備をし
ます。また、出産、育児関
連に関する届や、死亡に関す
る届も。

お金
のプロ

税理士

税務の専門家

納税のアドバイスや申告書の
作成が主な仕事です。確定
申告書や申請書類を作成す
る「税務」、会計帳簿や決算
書などを作成する「会計業
務」や「コンサルティング業
務」を通じて、顧問先企業
の発展に貢献します。

公認会計士

税理士の中心的な仕事は「税務」であるのに対して、公
認会計士は、企業の経営をチェックする「監査」や経営
戦略の相談にのる「コンサルティング」が中心。顧客は「監
査」が必要となる大企業が多い。

司法書士

土地・建物や会社の登記、裁判事務、成年後見業務など
が主な仕事です。街の法律家として、身近な暮らしの法律
トラブルを解決するためのアドバイスやサポートをします。

弁護士

弁護士とは法的な手続をする上で、争いごとの当事者の代
理人、被告人の弁護人として法廷で主張・弁護等を行う
ほか、各種の法律に関する事務を行う職業、またはその資
格を持った者をいいます。

行政書士

官公署に提出する申請書類の作成や提出手続、遺言書・
契約書の作成などが主な仕事です。起業家にとって、法人
設立や許可可等の面倒な手続きを代行してくれる力強い存
在です。

INTERVIEW

縁の下の、力持ち。

「専門力のチームプレー」で社会課題を解決！
ソーシャル・ビジネスの強い味方、Mr. タナカ

YOSHIHIRO TANAKA

田中 義博さん

こらぼワーク 専務理事
一般社団法人栃木県中小企業診断士会理事
特定社会保険労務士 中小企業診断士



共に悩み、共に斬り開く。

「頭脳派」「何でも精通している」「いつも素で面白い!」関係者の話をきくととにかく話題になる。11 団体の役員をこなし、社会保険労務士（以下、社労士）と中小企業診断士というダブルライセンスを駆使する。こらぼワークの要人とささやかれる田中さんって一体!? 穏やかで心地の良い声色で、ご自身の志について語ってもらった。

「14 年前に失業中に遊んでいたら、こらぼワークの理事長に「仕事しない?」って誘われたんです。」チームワークで話し合い、みんなが主体となって、協同でやっていく。そんな生き方に憧れて大学卒業後にワーカーズコープに入職。およそ10年、それ一筋で走ってきた。ふと立ち止まり、ひとりで何ができる

か考え直そうと退職した時に声がかかった。「前職では、マネージャー職で色々な事業所をサポートしていました。『夢を持って何かビジネスをする』っていう人を後方から支援することに興味があったんです。こらぼワークは、地域に根差した団体。地方だからこその顔の見える関係の付き合いがある。そういう付き合いがこの団体にはあった。それがベースにあれば自分のやりたい事がやりやすいだろうなと思いました。」

「こらぼワークは地域の中で連携する法人、団体がいっぱいあったので、サポートの仕事を組み立てるのに面白いかなと思って。」ひとつでは完結しない多様な事業所を束ねたようなユニークな事業形態がこらぼワークの特徴。そこに魅力を感じてすぐに快諾した。そこから田中さんのサムライ（土業）への道が始まる。

総務・経理の仕事も経験値。非営利、協同組合、特殊な団体の独特な法律やマネジメントがノウハウとして蓄積されて、専門性を深めることが出来る。

「何かになりたくて」 必死だった。

「実は元々社労士や会計がやりたかった訳ではないんです」と意外な言葉。大学では人文学部歴史学を学び、実用性がない学士の資格しなかった。「何かになりたかったんです。必死でしたね。」自分の得意分野を生業にするのが一番いいと考えた。興味があったのは「夢を持って何かビジネスをする」っていう人を後方から支援する仕事。事業を立ち上げ、継続、発展させるために必要となるのが、法律・会計など専門的な分野。そこをバックアップしようと決心が固まった。

前職で立ち止まり、
自分にながでできるのか考えた。

チームワークで話し合い、みんなが主体となって、協同でやっていく。そんな生き方に憧れて大学卒業後にワーカーズコープに入職。およそ10年、それ一筋で走ってきた。ある時ふと立ち止まり、ひとりで何ができるか考え直そうと考え、ワーカーズコープを退職した時、こらぼワークから声がかかった。

こらぼワークに入ってすぐ、やりたいイメージに近い「社会保険労務士」を取得した。社労士とは「人のお金に関わる」実利の資格。例えば、妊娠、出産したら、その手当金もらえる。きちんと知っていて対応してあげれば、従業員さんが働く上でプラスになるというもの。ただ社労士は、商売が成り立っている上でのトラブルや給付のサポートだった。経営そのものが上手いにくいお手伝いをするのには、さらに中小企業診断士の知識が必要だった。

「総務・経理を手伝うというだけではなく、事業そのものをバックアップする仕組みをつくりたかったんです」と田中さんは振り返る。

変わらないと生き残っていけない部分
をサポートする

「ソーシャルビジネスを起こそうとなったら、まずは総合的に相談にのってくれるところが意外とないんです。イメージとしては、非営利版の商工会といったところでしょうか。」最初にビジネスプランをつくる、お金をかりる所から、人を雇用する相談、経理や財務の相談、税に関しては税理士さんにつないだりなど相談は多岐に渡る。未熟な部分をまずはバックアップして、経営が軌道にのってきたら専門的に税理士さんなどをお願いをする。「事業体が多様になってきていて、営利、中小企業という従来の枠組みで解決しなくなってきました。人口が減っていくなかで、まちづくりや地域活性化を進めるには、NPO、中小企業、個人事業主であれ、色々なところがそれぞれで頑張り連携するように変わっていかないと良くならないと思うんです」。NPO・ソーシャルビジネスと、NPO 中間支援団体、行政、商工団体、金融機関、それぞれの中間をつなぐのも田中さんの使命。

「介護や障害などの分野では、働く側もサービスを受ける側も、納得がいくようなきめの細

かいサービスだけが生き残る。小さい事業所さんは、事業連帯を組んで互いに連携していかないと荒波を乗り切っていけない。志とシステムを成り立たせていくための事業連帯、サポートビジネスができれば面白いかなと。ばんばん事業を伸ばすというよりは、生き残っていく、維持、発展させていくための基盤整備みたいなことをここでサポートできればいいですね」

田中さんの道のりはまだまだ続いていく。

YOSHIHIRO TANAKA

田中 義博

県内の非営利団体の役員を多数兼務。
県診断士会のパブリックビジネス研究会幹事。
栃木県新たな公の担い手支援事業（融資相談）を担当。（H23～24年度）
日本政策金融公庫宇都宮支店／ソーシャルビジネスセミナー「NPO法人の資金調達」講師を担当。（H27年、H28年）

一般社団法人栃木県中小企業診断士会理事、
特定社会保険労務士、中小企業診断士として
ソーシャルビジネス、非営利組織、協同組合
の人的資源管理、経営コンサルティングに従事。



いつも笑顔であふれる 変わらない場所であるために

INTERVIEW

NPO 法人 ひまわり

田代美希さん
NPO 法人ひまわり
施設長

MIKI TASHIRO

田濤さん
こらぼワーク
総務経理サポート

こらぼワークでの
サポート内容

総務経理サポート

資金調達サポート

めぐりめぐったご縁で
こらぼワークと出会った。

ブルーとホワイトを基調としたお洒落な外観。扉を開けると天然の木材やシャビーシックなインテリアが出迎えてくれる。主に精神障害を抱える方々が利用している障害就労継続支援B型の事業所とは思えないほど、明るく居心地のいい施設「ひまわり」。笑いがテーマだけあって、室内漂うのは和やかなムード。企業からの請負作業と藍染めや草木染め、手工芸品などの自主製品の製作・販売をしている。ひまわりのように明るくはつらつとした田代施設長に、こらぼワークとの関わりについて伺った。

「ひまわりが30年ほど前に小規模共同作業所としてスタートする時に、こらぼワーク佐藤理事長が立ち上げに関わっていたご縁があったんです。私たちからすると工賃をだすので精一杯なのに、佐藤理事長のおっしゃる「障害者を納税者に」という考え方はすごいと思って。福祉と労働をいっしょに考えている、志がひとつ上だなと思いましたね。」

突然の施設移転!?
窮地をチャンスに変えてくれた人。

本格的にこらぼワークに仕事をお願いするようになったのは、およそ6年前。田代さんがひまわりの役員になる時のこと、「会計をなんとかしたい」と探して偶然にも巡り会ったのがこらぼワーク田中さんだった。そこから、会計をはじめとして行政に出す書類を作成する相談相手に。

それから3年後、ひまわりが道路拡張につき立ち退かなくてはならないという窮地に立たされた。建物に道路がかからないので立ち退き料がもらえない上に、NPO なので助成金がもらえず困り果てていたという。

「突然の事態に困り果てていた時、田中さんが、土地を探す所から政策金融公庫にお金を借りる手続き、細かい書類を一手に引き受けてくれました。NPO がお金を借りて、建物を建て、財産を所有するというのはなかなか無いことで、宇都宮市で初めてのケースで。宇都宮市も栃木県も書類をどうしていいのか

分からず、その辺も全てサポートしてくれました。リスクも含めた説明をきちんと伝えてくれたので「これだから大丈夫だよ」と背中を推されて決めることが出来たんです。田中さんがいなかったら、この建物は建っていなかったと思います」と笑顔がこぼれる田代さん。

「いつ来ても変わらない場所」であり
続けるために。

ひまわりが一番大切にしているモットーは「いつ来ても変わらない場所であり続ける」こと。しばらく来ていなくても、また同じように待っていてくれる。苦手な部分で時間や労力を費やして、利用者さんとの関わりや仕事を手薄になってしまわないようにしたい。だから、任せられる所は専門家に任せるとというのが田代さんのスタンス。

「少しずつ教えてもらいながら、こちらで出来る事も増えてきたんですよ」とさらに前進し続けるひまわりは、利用者さんにとってますます安心できる居心地のいい場所になっていくことだろう。



INFORMATION

NPO 法人ひまわり

障害者自立支援法に基づく福祉サービス事業
（就労継続支援 B 型）
精神障害者の家族への相談、支援事業
地域の人々に対しての、精神障害者に関する
普及啓発事業

藍染めや草木染めなどの自主製品は、イベントでの販売のほか、とちぎ福祉プラザ内「ナイスハートショップ」や宇都宮市役所内「わくわくショップU」などで販売中。

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 3-12-4
TEL 028-658-3299 / FAX 028-666-0450

INTERVIEW

空気のようなサポートで 安心して若者と向き合える

一般社団法人 とちぎ青少年自立援助センター
とちぎ県南若者サポートステーション

菊地修介さん

(社)とちぎ青少年自立援助センター
とちぎ県南若者サポートステーション
事務局長

SHUSUKE KIKUCHI

田代さん

こらぼワーク
総務経理サポート

こらぼワークでの
サポート内容

総務経理サポート

INFORMATION

とちぎ県南若者サポートステーション

若者の職業的自立のため、就学・就業、経済的、精神的など、さまざまな側面で困難な問題を抱えている若者（概ね10代～30代）やご家族からのご相談に応じる支援センター。
若者達が共同生活を行いながら、社会的自立できる青年たちの育成に取り組む。

栃木県小山市中央町3-7-1ロブレ 6階 生涯学習センター内
TEL:0285-25-7002
URL:<http://tochigi-ysc.org/>



若者の入り口でありたい

小山駅前、アクセスのいいロブレ内にあるとちぎ県南若者サポートステーション（以下、略称県南サポステ）。さまざまな理由で仕事に悩む若者をサポートする機関として、厚生労働省から委託を受け平成20年にスタートした。整然としたなかにも熱い想いがにじみ出る事務局長の菊地さんから、年間170件という全国でもトップレベルの高い就労実績を誇る理由、こらぼワークとの関わりについて教えてもらった。

「想い」と「専門性」の両輪で走る

とにかく、若者と真摯に向き合う。それが県南サポステの大切にしていること。「一人ひとり必要なことが多岐に渡るので、何を悩んでいるのか、バックグラウンドなどしっかりヒアリングすることが大切です。それぞれにあった自立への道筋をたてていくことが一番の基本ですね。」さらなる強みは「スタッフの質」。母体は生活寮を運営している民間団体。利用者の立場で考える姿勢がベースにある。

県南サポステを立ち上げた頃は「想い」で運営していたのが強かったが、「みんなでプロフェッショナルになろう」とキャリアコンサルタントの国家資格を取得するなど、ここ数年で専門性を高めてきた。「社会の入り口にたたせないといけない」スタッフ全員が共通の強い使命感によって突き動かされているのだらう。いつしか、他の団体さんから紹介が増えるといった若年者のネットワーク構築にも繋がっていった。「ようやく入り口ができてきた」という確かな手応えを感じ始めている。

混乱の時期から、トップレベルの就労実績を残すまで

菊地さんは当時のことを昨日のことのよう覚えていて。新たに発足した当時の政権による刷新会議で、事業が打ち切られてしまうという悲劇がおこった。まさに、大手スポンサーがなくなったようだった。それでも必要性があり、現在のサポステの形として事業が復活。とはいえNPOを立ち上げるのにも経理などノウハウがなかったという。「どうしよう、となりましたね。その時につなが

りのあったこらぼワークさんに相談したのが始まりです。立ち上げだけでなく、スタッフの欠勤が続いて悩んだ時にもお世話になりました。小さい事業所なので何足ものわらじを履かなくてはいけないんです。」経理や労務、年金のことなど、何かあればすぐにこらぼワークへ電話。その電話1本で霧が晴れて方向性が見えてきた。「こらぼワークさんがいてくれるので安心していられます。そのお陰で自分がしなくてはいけない業務や若者にしっかりと向き合えるようになりました。」

経営面でのサポートも入り、経営基盤も安定した。国からの支援に依存せずサポステ外の事業に力をいられるようになった。現在では全国でもトップレベルの就労実績を誇るまでに組織を成長させることができた。今注力しているのは「川上での支援」。「高校を中退、未就職のまま卒業した子が、1年くらいのブランクがあってここに来ます。その前にキャッチできる仕組みが必要だと感じて、学校にカウンセラーを派遣する取組みもしています。」想いの強さをのぞかせる菊地さん、県南サポステの今後に期待が高まる。



What's こらぼワーク総務経理サポートセンター？

NPO や社会福祉法人・企業団体の経理、総務の仕事を集中処理をしているこらぼワーク。

およそ30もの事業所を陰で支える 女性スタッフのみなさんを直撃！

「こらぼワークの総務経理サポート」について本音トークをしてもらいました。

—こらぼワークサポートセンターでは、 どのようなことをやっているんですか？

田代さん「人事の社労系、経理の仕事を
中心にサポートさせてもらっています。ク
ライアントさん自らで全てやるのにはハードル
が高いし、プロに頼むのには会計事務所、
社労士事務所と色々な所をお願いしてく
てはいけないんです。その分、労力もお金も
必要になってきます。ここはワンストップで
『何でも相談できる』存在なんです。」

鈴木さん「色々な団体のさまざまなケース

をサポートさせてもらっているの、ソー
シャルビジネス、非営利組織、福祉事業と
いう特殊な分野での専門性が高いと思いま
す。常に情報も集まっていて、共有できる
部分もありますね。」

—幅広い業種のクライアントさんがいま すが、みなさんそれぞれ専門分野があ るんですか？

田代さん「そもそも介護、障害系、一般
企業と業種が異なると、法律や制度が違う

だけでなくお金のまわり方までも違うん
です。例えば、NPO、社会福祉法人、一
般企業と書類は同じでも仕訳方も会計ソフ
トも違うのが難しいところ。各々の業種ご
とに高い専門性が必要となります。なので、
得意な業種でまとまって、1 クライアントさ
んにつきひとりの担当者が専属でつかせて
もらっています。」

野澤さん「担当は分けていても、分からな
いことがあるとみんなに相談して、すぐ解
決できる体制ですよね。」

—クライアントさんと具体的にどのよう なやり取りをしていますか？

田代さん「事業規模によりけりですね。希
望があれば訪問もしますが、こらぼワーク
に来てもらうのが基本です。少しでもク
ライアントさんの経済的な負担を減らしてあ
げたいので…できるだけコストを抑えられ
るように工夫しています。」

田濤さん「最初は週に1回訪問サポートし
ていたところも、やり方を覚えてもらって月
に1回など減らしていったりもしていますよ
ね。」

—クライアントさんにレクチャーをし たりすることもあるんですか？

田代さん「クライアントさんの事業を継続、
発展させることがこらぼワークの使命です。
最終的に自分たちで出来る事を増やしても
らうのが私たちの仕事でもありますね。業
務や運営をスムーズにさせるためにアドバ
イスはしています。」

田濤さん「労務、経理面だけでなく、困
ったことがあれば何でもお話を伺っています
よね。パソコンが苦手なクライアントさん
にお願いをされて、メールの返信方法からサ
ポートして覚えてもらったというケースもあ
りました。」

鈴木さん「ケースバイケースで相談に応じ

ている感じですね。提携している専門家も
いるので、必要があれば外部のスペシャリ
ストに相談もしています。」

—クライアントさんのために気をつけ ているところはどんな所ですか？

鈴木さん「クライアントさんとの距離感に
は気をつけています。制度も法律も複雑な
ので、『面倒くさいから、こっちで全部やっ
てあげるよ』と言ってあげたくなんです
が…やはり一定の部分は覚えてもらわない
とクライアントさんのためにはならないとい
う辛さはありますね。」

田代さん「そうそう、大変になるのは想像
がつくんです。でも、クライアントさんの
ために馴れ合いにならないようにしてい
て…陰で恐れられているかもしれませんが
(笑)。」

—組織が成長するため必要なことで すよね。親心のような…。行政との関わ りで大変なことはありますか？

野澤さん「役所から書類の提出を求められ
るというケースがあります。急に対応する
のは大変ですし、他の業務が出来なくなっ
てしまいますよね。どのタイミングで何が
必要になるのかも難しいと思うので、必要
な資料やデータは常に準備をして、いつも

送ってあげられるようにしています。」

—他にもクライアントさんのために心が けていることがあれば教えてください。

田濤さん「『事務所の雰囲気が好き、落ち
着く』と言ってもらえることが多いので、
常に何でも相談ができて安心できる、そん
な存在でありたいと心がけていますね。」
鈴木さん「同じ障害者向けの支援事業で
も、事業所によって全然雰囲気が違います。
同じ制度を使っていても目指しているポリ
シーや経営方針が違う。それに添ってスタッ
フの処遇も変わってきます。それに加えて、
頻繁に変わるの制度に対応するのは大変な
ことだと思うんです。その部分を私たちが
しっかりサポート出来るように、常に勉強を
し続けています。」

田代さん「そうですね。時代の変化も受け
やすい仕事なので、ひとつひとつのク
ライアントさんにしっかり向き合い、寄り添い
ながら、共に成長していきたいなと思います。」



※写真左から 田代さん、鈴木さん、野澤さん、田濤さん



20年以上に渡ってこらぼワークの会計や税務をサポートしている心強いパートナー、「ウチノ税理士法人」。

創業42年、北関東初の税理士法人として総合的サポート事業を展開する一方、社会のニーズに寄り添い、非営利団体への支援にも力を注いでいる。貴重な支援サービスの一翼を担ってくれている二人のスペシャリストにお話を伺った。

「NPO や社会福祉関連は会計が難しいんですよね。細かい区分がある上に法律も変わり、毎年やることが違う。それに対応していくのは専門家ですらかなりの努力が必要だと思います。そんな部分を高い専門性を持って、深い部分で相談にのってくれているので本当に助かっています」と田中さん。

そこで内野先生が、「ウチノ税理士法人」を

分かりやすく病院に例えてくれた。「内科は内科でも色々な問題があるでしょう。がんや糖尿病、整形など分野がたくさんあって、症状にあわせて対応出来るようになっている。税にも色々な種類があって、法人税や資産税とか、それぞれ専門性を持って総合的にサポートしないと対応できない複雑な社会になったんです。」

まるで総合病院のように、窓口はひとつでも、クライアントの要望にすぐに対応できるネットワークが構築されているのが「ウチノ税理士法人」の武器。例えば、「法律の問題」となったらすぐにグループ内の弁護士が対応してくれる。社労士、土地関連、税金だけの問題だけでなく会計事務所周辺の業務を総合的にサポートする仕組み。それが「そもそもどこに相談したらいいのか分からない」という非営利団体の救世主となる。

「お医者さんでいうと命だけど、私たちは貴重なお金を預かっています。判断を間違えると余計な税金を払うことになってしまう。常に勉強をして、他の専門家とも連携しながらよりよい仕事をして、世の中の変化に対応出来るようにしていかないと」と石川先生。

「社会が求めていることは、放っておけない」という内野先生の言葉に全てが集約されている。同じ使命感でつながる専門家のチームプレーがこの地域社会の未来を支え、変える原動力になっていくことだろう。

INFORMATION

ウチノ税理士法人

栃木県宇都宮市下戸祭 2 丁目 12 番 14 号
TEL: 028-621-5014
<http://www.komonzeirishi.com/uchino/>



こらぼワーク

仲間と一緒に、仕事をつくる

企業組合とちぎ労働福祉事業団

<http://www.kyoudou.net>

本 部	〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-659-4959
宇都宮事業所	〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-680-6598
小山事業所	〒323-0808 栃木県小山市出井 1523-19 協栄流通株式会社物流センター内 tel 0285-25-1805 fax 0285-25-1816
福祉住環境事業部	〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-684-2403
ソーシャルファーム 長岡	〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 293 tel 028-680-6612 fax 028-680-6613
ソーシャルファーム 小山	〒323-0807 栃木県小山市城東 2-8-19 tel 0285-39-6270 fax 0285-39-6271

Publishing : CO-LABOWORK
Art Direction & Design : FRONT DESIGN
Edit : Hitomi Yoshida (FRONT DESIGN)
illustration : Syuichi Saito (FRONT DESIGN)

We are deeply grateful to all the people who helped to create this paper.

Copyright 2015 CO-LABOWORK. All Rights Reserved.